

事例 11 長崎県長崎市

～大学への期日前投票所の設置～

- 市の面積 : 405.9 km²
- 市の人口 : 429,508 人 (H27 年国勢調査)
- 選挙人名簿登録者数 : 366,534 人 (H28 参 (選挙時登録))
- 投票所数 : 157 箇所
- 期日前投票所数 : 25 箇所 (公共施設、大学)
- 直近選挙の投票率 : 53.02% (H28 参) 45.77% (H27 市議)
47.20% (H27 県議) 49.57% (H26 衆)
- 18、19 歳の投票率 : 18 歳 : 44.74%、19 歳 : 36.31% (H28 参)

取組に至る経緯

平成26年2月の市議会において、大学への期日前投票所の設置について議論があったことが、まずはじめの検討のきっかけであった。その後、選挙権年齢の引下げを受け、選挙管理委員会では大学への期日前投票所の設置が、新たな投票者の掘り起こしや若者の投票率向上につながると考えた。

そこで、選挙管理委員会では、長崎市内の四年制大学4校に期日前投票所の設置を打診し、3校から了解を得られた。3校のうち長崎大学については、他大学よりも学生数が多いため一定の利用者が見込めること、市街地にあるためアクセスがよいことの2点から、長崎大学への設置を決定した。

当初は、投票所に適した広さを確保できるか、オンライン対照のための回線工事が可能か、一般市民が大学構内に立ち入ることは支障ないかなどの課題があったが、平成27年6月から長崎大学と協議を開始し、最終的に平成28年の参議院選挙で初めて設置した。

(期日前投票所設置の打診に対する回答)

大学	大学からの回答	選挙管理委員会の判断
長崎大学	可	学生数の多さ、立地の良さから設置を決定。長崎大学の中でも特に学生数の多い文教キャンパスを選択。
大学B	可	大学付近に既に投票所があるため、設置は見送ることとした。
大学C	可	山の上でありアクセスが不便なため、設置は見送ることとした。
大学D	不可(一般人の入構不可)	—

(事業スケジュール (平成28年))

実施日	実施内容
4月12日	大学へ期日前投票所開設依頼提出 (大学への期日前投票所の設置自体の申請)
6月6日	大学へ期日前投票所開設依頼提出 (参院選にて期日前投票所を設置するための申請)
6月14日	大学から開設許可の回答
6月24日	会場使用申請書提出
7月5日	会場設営、従事者研修

取組内容

平成28年7月の参議院選挙における大学への期日前投票所の設置状況は以下のとおりである。

投票所	設置期間	投票時間
長崎大学文教キャンパス 学生プラザ1階	7月6日(水)～7日(木)	午前10時～午後5時

(設置場所及び時間)

設置場所は、当初大学から提案のあった場所が2階であったことや建物の奥まった場所にあったことから、他の場所を再度提案いただき、場所が分かりやすい「学生プラザ1階」に決定した。

設置期間は、先進事例である山口市、松山市を参考に2日間とし、投票時間は学生が多く集まる午前10時から午後5時までとした。

設置場所及びレイアウト図は以下のとおりである。

なお、大学周辺は、市内でも人口が多い地域であり、近隣には高等学校もあるため、投票所の利用は大学生に限定せず、すべての選挙人が利用できることとした。一方で、住民票が長崎市にない学生や一般の方の来場が他の期日前投票所に比べて多くなることも予想されたため、事務従事者が混乱しないよう、事前の研修時にもその場合の対応を指導した。

(当日の体制)

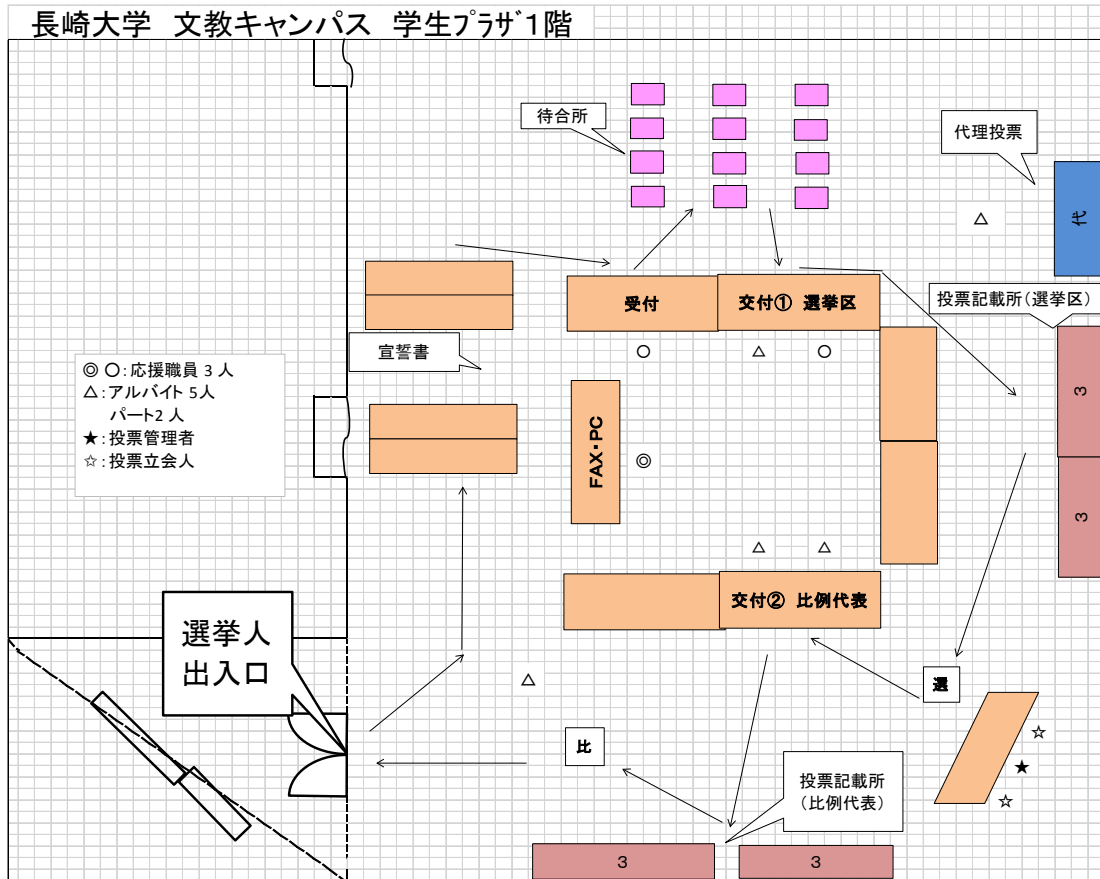
当日の体制は、投票管理者、投票立会人のほか、事務従事者(応援職員3名、民間人5名)である。民間人5名はアルバイトであり、午前10時から午後5時までの勤務だが、アルバイトの休憩時間を埋める形でパート2名が正午～午後3時に勤務した。

【設置場所】



※長崎大学HPキャンパスマップより作成

【期日前投票所内レイアウト図】



(周知方法)

市民及び近隣高校への周知としては、期日前投票所について記載した文書及びポスターを大学周辺の自治会や近隣高校あてに送付し、文書の回覧や啓発ポスターの掲示板への掲示を行った。また、大学生への周知として、同様の文書及びポスターを大学構内に掲示したほか、大学のメールマガジンを利用し登録者へ周知を行った。さらに7月6日には選挙管理委員会、学生、明るい選挙推進協議会の計21人が一体となり、昼休みの時間に、学生が集まりやすい生協食堂や学生プラザ周辺において、啓発物資（投票日記載のシールを貼ったお菓子、選挙パンフレットを1,200セット）の配布や期日前投票所利用の呼びかけを行った。啓発物資をただ配るだけでなく、「投票に行ったことはありますか？」「住民票はうつしていますか？」など、積極的に学生と会話をするよう心がけ、選挙への関心を高めるよう工夫した。



啓発物資



啓発活動の様子

(実施経費)

平成28年参議院選挙における当該期日前投票所の設置・運営に係る経費は約83万円だった。

(単位：千円)

費目	金額	備考
人件費	138	投票管理者報酬、投票立会人報酬、管理者・立会人謝礼、事務従事者賃金
啓発費	16	看板等設置・撤去委託費
諸経費	678	投票所借上料、ネットワーク構築・運用費、回線使用料、器材運搬・撤去委託費、駐車場警備委託費、宣誓書印刷費、ドアシリンダー交換委託費、求人情報掲載費、備品購入費
合計	832	

取組の実績・効果

今回の参院選における投票者数は482人だった。投票者のうち、10～20代が約53%を占めており、若年層の投票機会の確保に寄与したと考えている。

また、学生から「学校に投票所ができたので投票に来た」という意見や、大学周辺に住む高齢者から「近くに投票所ができてうれしい」という意見が寄せられている。

今後の選挙に向けては、引き続き、住民票を長崎市内に移していない大学生に対する周知を実施することで、長崎大学の期日前投票所がより利用しやすいものとなれば投票者数の増加にもつながるものと考えており、これらの視点での学生への周知や、周辺住民に対するより効果的な啓発方法についても検討していきたい。また、近隣の高等学校の学生の利用が少なく、その一因として、期日前投票所の閉鎖時刻が午後5時とやや早かったことが挙げられる。今後の選挙では、部活動後に帰宅する生徒も投票できるよう、投票終了時刻を伸ばすことも検討したい。